

問1 19世紀前半の江戸時代後期にオランダ商館医として来日し、長崎郊外に私塾を開いて西洋医学を伝えるとともに、日本の動植物や地理に関する膨大な資料をヨーロッパに紹介したドイツ人医師は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. ゴローニン 2. シーボルト 3. ツンベルク 4. ラクスマン

問2 江戸時代、諸藩は財政難を克服するため、領内の特産品を強制的に買い上げて他国へ売り出す政策を展開した。現在の島根県西部に位置するある藩では、特産品である半紙の製造・販売を独占的に行うことで、本来の表高である4万石余を大きく超える、実質15万石相当の多額の収入を得て藩財政を支えた。この政策を行った藩はどこか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 津和野藩 2. 薩摩藩 3. 土佐藩 4. 長州藩

問3 江戸時代、幕府の財政再建や新田開発を目指す改革の中で、商人の資金を導入した大規模な干拓事業が計画された。老中田沼意次のもとで工事が開始されたものの、洪水や浅間山の噴火、さらには彼の失脚によって途中で挫折した、下総国に位置する代表的な沼はどこか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 利根川 2. 手賀沼 3. 児島湾 4. 印旛沼

問4 江戸幕府の対外政策に関して、寛永期(1624~1644年)にはキリスト教の禁教徹底と貿易統制を目的として、一連の統制令が出された。この時期、日本人の海外渡航と帰国が全面的に禁止され、さらにポルトガル人が追放された。また、平戸にあった商館が長崎の人工島へと移転させられ、対外窓口が整理された。これら一連の政策を主導した、江戸幕府の第3代将軍は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 徳川家光 2. 徳川吉宗 3. 徳川綱吉 4. 徳川秀忠

問5 荻生徂徠の門人である太宰春台が著し、武士が専売制などの商業活動を通じて財政を潤すことを肯定的に評価し、のちの諸藩の藩政改革における専売制導入などに大きな影響を与えた経世書は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 経済録 2. 本佐録 3. 除蝗録 4. 地方録

問6 儒教・仏教・神道の教えを融合させた独自の生活哲学を唱え、それまで卑しめられがちであった商人の利益追求を武士の俸禄と同じように正当なものであると肯定し、庶民に儉約や正直の徳目を説いた江戸時代中期の思想家は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 二宮尊徳 2. 安藤昌益 3. 石田梅岩 4. 中江藤樹

問7 江戸時代中期に京都出身の思想家によって創始され、儒教道徳を基本に仏教や神道の教えを融合させ、儉約や正直などの徳目を庶民に説いた実践的な生活哲学を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 陽明学派 2. 石門心学 3. 復古神道 4. 垂加神道

問8 江戸時代後期、仙台藩医の工藤平助は、民衆が味噌や塩のように日常的に大量消費しているある輸入品を問題視し、長崎貿易における輸出入の制限などを訴えた。この輸入品は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 生糸 2. 砂糖 3. 書籍 4. 薬種

問9 江戸時代、幕府による禁教政策の一環として、民衆が特定の寺院の檀家であることを証明するために作成され、のちに家族構成や年齢、続柄などを記録して戸籍や人口調査の役割も果たすようになった台帳を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 五人組帳 2. 人別改帳 3. 宗門改帳 4. 宗旨改帳

問10 江戸時代初期、徳川家康が朱印状による海外渡航を奨励したことで、東南アジア各地に日本町が形成された。このうち、アユタヤ(シャム)の王室に重用され、現地で傭兵隊長などとして活躍した人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 山田長政 2. 田中勝介 3. 支倉常長 4. 浜田弥兵衛

問11 江戸時代後期、農村の荒廃にともなって無宿人や博徒が横行し、治安が著しく悪化した。これに対し、江戸幕府が1805年に勘定奉行の配下に設置し、国境を越えて関東地方の農村の治安維持にあたらせた役職を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 関東取締出役 2. 火付盗賊改役 3. 人足寄場差図役 4. 人足寄場取締役

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 2 シーボルト	ドイツ人医師のシーボルトは、オランダ商館医として1823年来日した。長崎郊外に鳴滝塾を開いて高野長英らに医学を教える一方、日本の自然や社会に関する資料を収集し、帰国後に『日本』などの著書を通じてヨーロッパに紹介した。
問2	答え 1 津和野藩	江戸時代中期以降、多くの藩が財政再建のために特産品の専売制を導入した。石見国に位置する津和野藩では、特産品である半紙（和紙の一種）の製造・流通を藩が独占的に管理する専売制を実施した。これにより、本来の石高である4万石余を大きく上回る、15万石相当に達する莫大な利益を上げ、藩財政の維持・再建に成功した。
問3	答え 4 印旛沼	田沼意次は、幕府の財政再建や新田開発を進めるため、商人の資金を活用して下総国の印旛沼や手賀沼の干拓工事を試みた。しかし、利根川の洪水や浅間山の噴火などの自然災害、そして田沼の失脚により、この事業は途中で挫折した。のちに水野忠邦の天保の改革でも再び干拓が試みられたが、これも失敗に終わっている。
問4	答え 1 徳川家光	寛永期に日本人の海外渡航・帰国の禁止、ポルトガル人の追放、オランダ商館の平戸から長崎の出島への移転などを行い、いわゆる「鎖国」体制を完成させたのは、第3代将軍の徳川家光である。新井白石が正徳の治において長崎貿易を制限するために出した「海舶互市新例」などは、のちの時代の政策である。
問5	答え 1 経済録	太宰春台の著書『経済録』は、武士が専売制などの商業活動を通じて財政を再建することを肯定的に論じた経世書である。この思想は、諸藩が特産品の専売制を導入して財政改革を進める際の重要な理論的支柱となった。
問6	答え 3 石田梅岩	京都の町人出身である彼は、独自の心学（石門心学）を創始した。商人の商業活動を正当なものとして肯定し、その道徳的実践を説いたため、多くの庶民から支持を得た。のちに手島堵庵らによって全国へ普及された。
問7	答え 2 石門心学	石田梅岩が創始したこの学問は、町人や農民などの庶民に対して、日常生活の中で実践すべき道徳をわかりやすく説いた。また、それまで卑しめられがちであった商人の商業活動を正当なものとして肯定したことで知られる。
問8	答え 2 砂糖	工藤平助は、民衆が味噌や塩のように輸入品である砂糖を日常的に大量消費している現状を問題視した。彼は長崎貿易における輸出入の制限を訴え、貴重な外貨や物品の流出を防ぐべきだと主張した。江戸時代中期以降、砂糖は国内での生産（和砂糖）も始まるが、それまでは長崎貿易を通じて輸入される貴重な高級品であった。
問9	答え 3 宗門改帳	幕府はキリシタン統制を目的として寺請制度を敷き、民衆が特定の寺院（檀那寺）の檀家であることを証明する台帳を作成させた。これが宗門改帳（宗旨人別帳）であり、家族ごとの名前、年齢、続柄などが詳細に記録されたため、実質的な戸籍や人口調査の台帳としての役割も果たすようになった。
問10	答え 1 山田長政	徳川家康が朱印船貿易を奨励したことで、東南アジア各地に日本町が形成された。駿河出身の人物である山田長政はシャム（タイ）のアユタヤに渡り、日本人町の頭領として活躍したほか、シャム王室に重用されて官位を授けられた。
問11	答え 1 関東取締出役	江戸時代後期、貨幣経済の浸透や飢饉などによって農村が荒廃し、土地を離れて無宿人や博徒となる者が急増した。これらは従来の領主支配の枠組みを越えて活動したため、幕府は1805年、勘定奉行の配下に関東取締出役（通称「八州廻り」）を設置した。この役職は、国境を越えて関東地方一円を巡回し、広域的な治安維持を行う権限を与えられていた。